

加圧式薬剤注入器の変更で抗がん剤調製業務の効率化負担軽減は可能か

1. 研究の対象

2018年11月1日から2019年4月1日まで抗がん剤調製に従事した薬剤師

2. 研究目的・方法

がん薬物療法で用いる医療機材である加圧式薬剤注入器を変更することで、抗がん剤調製者の業務負担の効率化・負担軽減に寄与するか調べる。業務の効率化は調製に要した時間を変更前と変更後で比較検討する。薬剤師の業務・負担軽減は調製業務に従事する薬剤師を対象にアンケート調査を行い評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

加圧式薬剤注入器の変更に伴い業務・負担軽減を調査する目的で作成したアンケートの回答

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 春名 康裕

研究責任者：

京都中部総合医療センター 春名 康裕

-----以上